

教育講演Ⅱ

子どもと自然と遊び-自然体験活動からみる子どもの遊びと作業療法について-

岡田友 氏

児童発達支援・放課後等デイサービス FLOW 岡寺

私は、「夢中になる」をキーワードに児童発達支援・放課後等デイサービス事業所にて遊びを手段として個別・集団療育での発達支援を行っております。

子どもにとって、遊びは意味のある大切な作業の一つですが、子どもの遊びや遊びの環境が大きく変化してきています。様々な情報が溢れる中で、外で体を動かす機会や自然と触れ合う機会も減ってきてているように思われます。

遊びの中には、様々なことに気づく・学ぶための大切な要素がたくさん含まれています。そして、特に自然環境の中には、その土台となる要素が豊かに含まれております。

当事業所では、親子参加型の自然体験活動を年間通して開催するプログラムを実施しております。畑で土に触れる・野菜栽培や収穫・どろんこ遊び・田植えや稻刈り・自然素材での制作活動など、自然環境の中で感覚刺激を豊かに感じたり、季節を感じられる活動を親子で体験できるように活動提供を行っております。

また今年度より、親子集団療育として自然体験活動型の療育プログラムも開始しました。このプログラムでは、「原体験しての主体的な自然体験を」コンセプトに自然豊かなフィールドを通して、親子で自発的・主体的に活動に取り組めるような活動の提供を意識しております。また、保護者の方や支援者と共に学び合える環境づくりにも意識して、活動を通して関わる方々のエンパワメントを育む活動作りを行なっていきたいと考えています。

こうした自然体験活動での子どもの遊びに焦点をあて、活動を通した発達支援の分析と作業療法士の役割について考察した内容を含めて、今回お伝えしたいと思っております。

講師略歴

2010-関西医療技術専門学校 卒業

～卒業後、大阪府の急性期・回復期にて作業療法士としてスタート。

2017-奈良県の児童発達支援センターで勤務。

2019-児童発達支援・放課後等デイサービス FLOW 郡山に所属。

現在は FLOW 岡寺に所属。

個別・集団療育や、フィールド活動を通して、様々な自然体験活動を提供
できるよう日々取り組んでいます。